

都市再生整備計画 事後評価シート
八千浦地区

平成25年3月

新潟県上越市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	上越市		地区名	八千浦地区			面積	180ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	835.0百万円	国費率	0.447				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	市道西ヶ窪浜4号線、市道夷浜10号線他、地域生活基盤施設										
		提案事業	まちづくり検討調査、緑化活動推進事業										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	なし										
		提案事業	保安林整備検討調査			関連事業(保安林整備事業)の一部に移行するもの。				影響なし。			
新たに追加した事業		基幹事業	なし										
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	変更なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	排水不良面積	ha	5.7	H19	3.2	H24	モニタリング	評価値	○	あり なし	排水路整備事業等により排水処理面積が拡大し、排水不良面積の減少につながった。	
	指標2	地域住民のまちづくり活動	人/5年	75	H19	185	H24	モニタリング	評価値	○	あり なし	まちづくり部会の活動の継続的实施により、住民のまちづくりへの参画意識が高揚された。	平成25年4月
	指標3							モニタリング	評価値		あり なし		
	指標4							モニタリング	評価値		あり なし		
	指標5							モニタリング	評価値		あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値				
	その他の数値指標2							モニタリング	評価値				
	その他の数値指標3							モニタリング	評価値				
4)定性的な効果発現状況	海岸パトロールや、小中学生参加の植樹活動など、地元主体の地域活動が活発に行われるようになり、住民意識の高揚につながった。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	保安林整備に関する検討委員会の組織化や植栽活動、緑化活動等のまちづくり活動を開催した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 継続的なまちづくり活動を展開するとともに、参加住民の拡大を図るための支援を行う。				
	持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

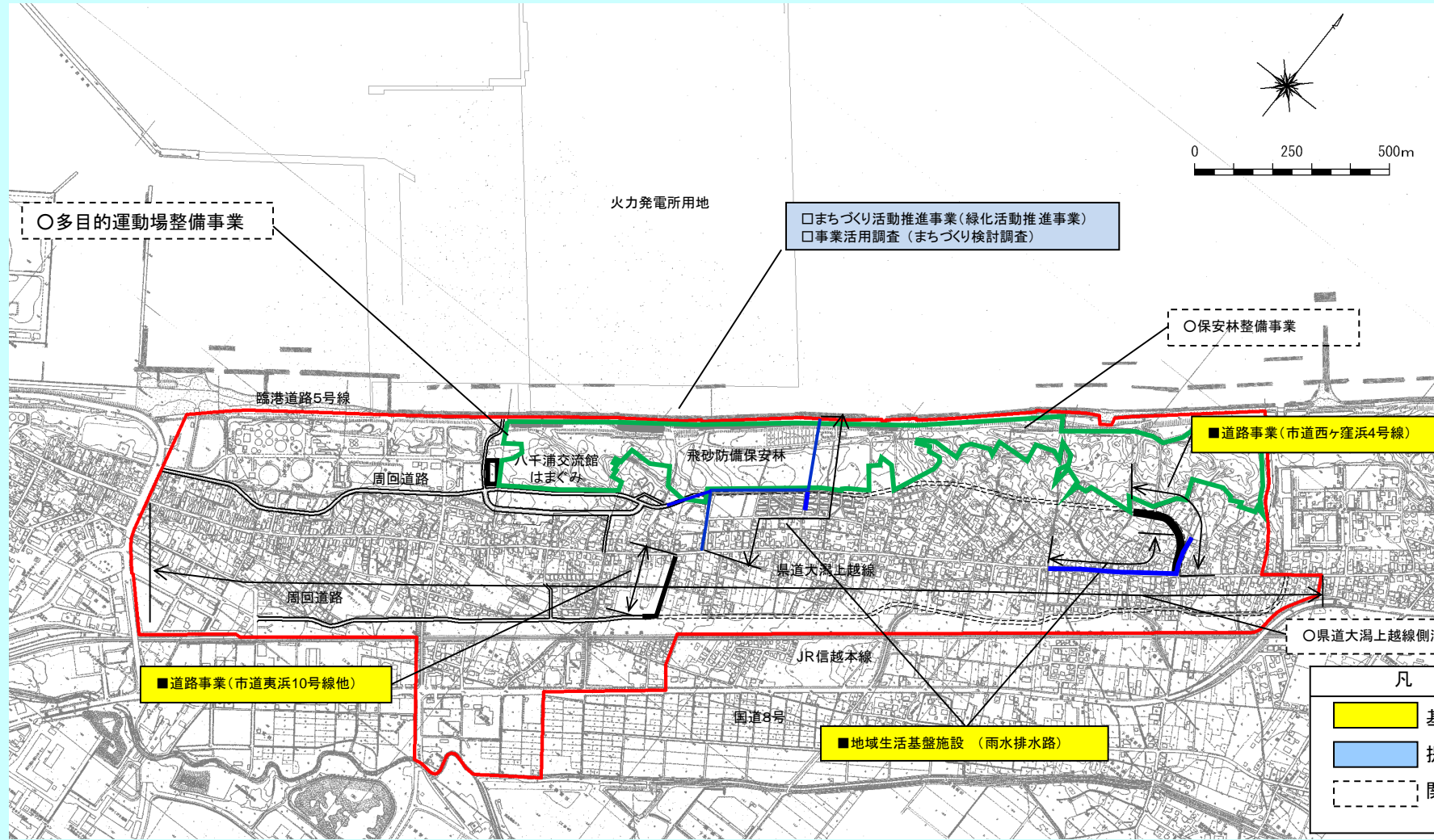
様式2-2 地区の概要

八千浦地区(新潟県上越市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: LNG火力発電所の背後地区として産業機能を支える安心して暮らせる魅力のある都市環境の形成 目標1: 地区の問題を解消する都市基盤の整備を行い安全で快適な生活ができる市街地を形成する 目標2: 地区の資源を保全・活用することにより地区の魅力の向上を図るとともに、地域住民の意識高揚を図る	排水不良面積	単位: ha	5.7 H19	3.2 H24	3.2 H24
	地域住民のまちづくり活動	単位: 人/5年	75 H19	185 H24	190 H24
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



多目的運動場整備事業



道路事業(市道西ヶ窪浜4号線)



道路事業(市道夷浜10号線)



地域生活基盤施設(雨水排水路整備)

まちの課題の変化	計画策定時に課題としていた事項については、目標値を達成したものの未整備となっている箇所もあり、今後も継続的に道路網の形成や雨水排水対策を図るなど、良好な市街地環境の形成が必要。一方、住民のまちづくりに対する意識の高揚がみられたことから、今後も住民が主体となったまちづくりを展開するため、継続的なまちづくり活動の展開が必要。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	未整備箇所の道路や雨水排水の基盤整備を推進し、安全で快適な市街地環境を形成する。あわせて、地域住民のまちづくり活動を支援するため、行政のサポート体制を確立することで、住民主体のまちづくりの展開を強化する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		指標1 排水不良面積：2.4ha	3.2ha	都市再生整備計画での雨水排水路整備について、地元との調整の結果、実施を見送った区域があり、道路排水の処理を図れない区間が生じたため、不良面積が0.8ha増となったものである。
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道西ヶ窪浜4号線	34	260m	24	260m	精査による事業費減	影響なし		●
道路	市道夷浜10号線他	18	140m	24	225m	市道八千浦環状南線との取付に伴う事業費、事業内容の増	影響なし	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	(雨水排水路整備)	930		784		地元との調整の結果、事業の実施を見送る区間が発生したため、整備区域を縮小するもの。	排水処理のできない区域が発生し、指標1排水不良面積の目標達成が不可能となったため、目標値を2.4haから3.2haへ変更した。	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査	保安林整備検討調査	5		—		関連事業(保安林整備事業)の一部 に移行するもの。	影響なし。	—	
	まちづくり検討調査	3		2		事業の成果を適切に評価するた めに追加するもの。	影響なし。		●
まちづくり 活動推進事業	緑化活動推進事業	6		1		当初の目的(緑化活動を通じたま ちづくり)の方向性を地元と調整 できたため、事業費・事業期間を減 とするもの。	影響なし。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
県道大湊上越線側溝整備事業		県道大湊上越線			平成18年度～平成21年度	平成18年度～平成21年度		
屋内多目的運動場事業			300	283	平成20年度～平成21年度	平成20年度～平成21年度		
保安林整備事業					—	平成24年度		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無		
			基準 年度	基準 年度	従前値 (イ)	基準 年度	目標値 (ウ)	目標 年度	モニタリング	事後評価	数値(エ)	モニタリング	事後評価	あり	なし
指標1	排水不良面積	ha			5.7	H19	3.2	H24	モニタリング	確定見込み ●	3.2	モニタリング	○		
									事後評価	○		事後評価	○		
指標2	地域住民のまちづくり活動人/5年				75	H19	185	H24	モニタリング	確定見込み ●	190	モニタリング	○		
									事後評価	○		事後評価	○		
指標3									モニタリング	確定見込み ●		モニタリング	○		
									事後評価	○		事後評価	○		
指標4									モニタリング	確定見込み ●		モニタリング	○		
									事後評価	○		事後評価	○		
指標5									モニタリング	確定見込み ●		モニタリング	○		
									事後評価	○		事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	目標達成のために必要な道路整備・排水路整備事業が期間内に完了したため、計画していた2.5haの排水不良区域面積が減少した。目標値に達したため、目標達成度を「○」とした。	
指標2	定期的に行われているまちづくり部会の参加人数が、平成23年度までの4年間で152人に達しており、平成24年度はこれまでと同程度の平均参加人数を見込むと、評価値(見込み)は190人となり、目標値に達するため、目標達成度を「○」とした。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

海岸パトロールや、小中学生参加の植樹活動など、地元主体の地域活動が活発に行われるようになり、住民意識の高揚につながった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
保安林整備事業等	予定どおり実施した	[実施頻度]約10回/年 [実施時期]平成21～24年度 [実施結果]保安林整備に関する、検討委員会や植栽活動、緑化活動、及び各種講習会が開催され、計画期間内の延べ参加人数が1,394人となった。	継続した活動とともに、参画住民の拡大を図るため、活動を支援する。
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価 庁内検討会議	関係部署課長級職員(都市整備課、道路課、下水道建設課、農林水産整備課)	平成24年10月16日(火)	都市整備部 河川海岸砂防課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標○	指標○	
指標名		排水不良面積	地域住民のまちづくり活動			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	市道西ヶ窪浜4号線	◎	雨水排水路整備事業が道路整備事業と一体的に実施したことで、効率的に整備が図られ、目標分の排水不良面積が解消された。	—	保安林整備事業をはじめとした活動が、まちづくり部会を中心に継続的に行われている。植樹活動には地域の小中学生が主に参加する回もあり、まちづくり活動の定着、及び地域の環境やまちづくりへの関心を持つきっかけとなると考えられる。	
	市道夷浜10号線他	◎		—		
	地域生活基盤施設(雨水排水管整備)	◎		—		
提案事業	まちづくり検討調査	—		—		◎
	緑化活動推進事業	—		—		—
関連事業	県道大湍上越線側溝整備事業	◎		—		—
	屋内多目的運動場事業	—	○	—		
	保安林整備事業	—	◎	—		

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	事業実施により目標は達成したものの、排水不良面積は3.2ha残っている。事業の実施を見送った箇所もあるため、引き続き排水路等の整備により、排水不良区域面積の減少を図る。	行政のサポート体制の確立や、まちづくり活動の周知を強化することで、八千浦地区全体で地域住民主体のまちづくり活動の拡大、及び活動の活発化を推進していく。
-------	--	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価 庁内検討会議	関係部署課長級職員(都市整備課、道路課、下水道建設課、農林水産整備課)	平成24年10月16日(火)	都市整備部 河川海岸砂防課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
交通機能が十分でなく、幅員の狭い道路が多いことから、生活環境や防災性の向上を図る道路整備が課題である。	県道大湊上越線と市道八千浦環状南線を結ぶ市道夷浜10号線の整備により、唯一の幹線道路である県道の交通体系の緩和が図られ、地区内の交通利便性が向上した。また、道路幅員が狭く地区を横断する道路がない西ヶ窪浜地区において、周回機能をもった市道西ヶ窪浜4号線を整備することにより、生活環境、防災性が向上した。	地区内には、まだ狭い道路が多く地区の利便性、安全性の向上が課題である。今回の道路整備による効果や地域状況の変化を見守りながら、今後も緊急性、重要性の高いと判断された道路については、整備を進めていく必要がある。	
大雨時の湛水などが発生しているため、排水不良を解消する雨水排水施設の整備が課題である。	計画内の排水路整備や側溝整備を進めたことにより、排水不良面積が2.5ha減少した。また、排水対策の根幹となる雨水幹線排水路の整備を進めることにより、地区全体の排水対策向上に寄与した。	排水不良箇所については、地元と調整を図りながら改善に取り組むとともに、下流幹線排水路の整備が完了したことから、接続する上流部の排水整備を道路改良工事や側溝整備工事に合わせて行い、地区全体の排水対策の向上を図る必要がある。	
海岸線や保安林などの緑地、寺社等の歴史など、地区独特の資源があまり利用されていないので、地区の魅力の向上を図るために有効に活用することが課題である。	保安林の植樹活動や美化(クリーン)活動が継続的に行われ、独自の風景の保全につながっている。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	協働のまちづくりの展開	まちづくり活動の継続的な周知を図り、地域住民主体のまちづくり活動を拡大し、地区の活発化を推進していくため、行政のサポート体制を確立する。	まちづくり活動支援事業

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	地区内の安全性を高めるための都市基盤整備	地区内の交通環境改善や排水不安の解消に向けて、道路整備・排水路整備等による住環境の改善を図る。	周回道路や区画道路の道路整備事業、雨水排水路整備事業

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	排水不良面積	ha	5.7	H19	3.2	H24	確定 ●	3.2	○	あり			
指標2	地域住民のまちづくり活動	人/5年	75	H19	185	H24	確定 ●	190	○	あり	平成25年4月	平成20年度から24年度の八千浦地区におけるまちづくりに関する会議に参加した住民の延べ人数を評価値(確定値)とする。	
指標3				H		H	確定			あり			
指標4				H		H	確定			あり			
指標5				H		H	確定			あり			
その他の数値指標1				H			確定						
その他の数値指標2				H			確定						
その他の数値指標3				H			確定						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・事業効果を直接計測出来る指標が多かったため、目標を達成することができた。	・事業効果の計測が明確に把握しやすい指標を設定する。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・事業内容と指標の関係が明確であるので、事業の効果を分かりやすく示すことができた。	・指標設定においては、事後評価の実施を考慮し、事業による効果が発現しやすい指標を設定する。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・保安林整備に伴い住民がまちづくりに参画する機会を設けたことで、事業への理解を醸成すると共に地域住民の協力により事業を円滑に進めることができた。	・住民参加は、まちづくり事業推進の円滑化、事業の質的向上を図る上で有効である。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・事後評価は庁内横断組織として「事後評価 庁内検討会議」を実施し、各事業担当課で課題を共有し、改善方策等について多角的に検討できた。	
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後、事後評価を予定する地区
本市では、平成25年度に「土橋南地区」、平成27年度に「黒井駅周辺地区(第二期)」、平成28年度に「北陸新幹線(仮)上越駅周辺地区(第二期)」の事後評価を実施予定であり、当該地区の事後評価の経験を踏まえて、円滑な事後評価を実施する。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	10月29日(月)～11月12日(月)	10月29日(月)～11月12日(月)	担当課への 郵送、FAX、電子メール、窓口での意見書	都市整備部 河川海岸砂防課
広報掲載・回覧・個別配布	市の広報に、住民公表を実施する旨を掲載	10月15日号	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	河川海岸砂防課窓口で閲覧	10月29日(月)～11月12日(月)	10月29日(月)～11月12日(月)		

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	浦壁 澄子:行政書士、社会保険労務士 佐藤 健:上越信用金庫理事長 佐野 可寸志:長岡技術科学大学准教授 関 由有子:せきゆうこ設計室代表	平成24年11月26日(月)	都市整備部 河川海岸砂防課	上越市都市再生整備計画評価委員会設置要綱	既存組織を改めて委員に委嘱
その他の委員	小山 浩徳:国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所長(代理) 折笠 昇:新潟県上越地域振興局長				

審議事項※1	委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	
方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
成果の評価	・排水不良面積として残っている3.2haの箇所については改善する必要はないのか、との意見があったが、優先度を高く設定している幹線の排水路の整備が完了したこと、またこの事業での目標は達成したということで、理解をいただいた。 ・成果の評価としては適正であることが確認された。
実施過程の評価	・適正であることが確認された。
効果発現要因の整理	・適正であることが確認された。
事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案が、市民に適正に公表されたことが確認された。
その他	・設定した指標がわかりやすいとの意見をいただいた。
事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくり方策の作成	・住民による活動が今後も継続して行われていくべきとの意見があった。
今後のまちづくりについて審議	
フォローアップ	・フォローアップを確実に実施していくことが確認された。
その他	・特になし。
今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・評価委員会の進め方として、現地視察があると理解がしやすいとの意見があった。

※1 審議事項の詳細は「評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--